

神奈川ウォーキング参加h22-14

124回例会

野鳥・花を探して公園めぐり in 新馬場から蒲田へ

日時：平成23年3月6日(日) 天候快晴 京急新馬場駅集合9:45 10:00出発
 コース：新馬場駅→児童公園<ストレッチ>東海道品川宿→品川寺→しながわ花海道→浜田橋(なみだ橋)
 →しながわ区民公園→都立大井ふ頭中央海浜公園(夕やけなぎさ)<昼食>→東京湾野鳥公園→流
 通センター駅<Aコース解散10km>→平和の森公園→大森大森ふるさとの海辺公園→旧呑川
 緑地海苔ふるさと館→梅屋敷公園→京急蒲田駅<Bコース解散> 公式発表23,000歩15km
 (伊藤自宅含む 31,000歩 20km)

参加者：田村総括L、A班熊坂・B班菊池・C班平嶋・D班仲各班長を含め、総勢47人

- ・山口の法要が終り「仏様の世界」から「現世」に還り、昨日3月5日(土)天気は小春日和、テレビで「河津桜まつり」放映。夫婦共に未体験で急遽決定。路線検索、3時間半かかり意外と遠い。「伊豆踊り子号」満席、諦めかけていたら、「ジパングが効かないか」との提言有り。検索結果OKでした。流石です主婦は強い。オールJR普通車で座って行きました。菜の花と河津桜、鮎の塩焼きに金目鯛の煮付け、生ビールと地酒の冷酒最高でした。(番外編に掲載させて戴きました)
- ・3月6日(日) 暦にWマーク有り、神奈川ウォーキング124回例会です。河津駅と違い「京急新馬場駅」は近い。零時前、田村リーダーにメール申し込みました。いつも直前申し込み申し訳ありません。

①東海道品川宿と品川寺



戸田さんによるストレッチ



「しながわでら」ではありません。
 「ほんせんじ」です。・・・八
 巻アナウンサーの御注意・・・
 大井町線にも「^{ほんぶつ}九品仏」駅が有り
 ます。



↑「^{ほんせんじ}品川寺」と「大銀杏」→



②しながわ花街道：菜の花を見ながら運河沿いを歩く

皆さん ようこそい
らっしゃーいませ!



土佐藩・鮫洲抱屋敷跡
土佐藩・浜川砲台跡
所在地 品川区東大井二丁目

浜川橋のたもとから立会川が海にそそぐところまでが、土佐藩抱屋敷であった。幕府への「指出」によると八六九坪が抱屋敷の広さである。(抱とは拝領と異なり買入れ、借用していたものである。)

ここは土佐から送られて来る物資の荷揚げ地であり、立会川から荷を陸上上げていた。

ペリー来航の嘉永六年(一八五三)土佐藩は砲台築造の「願」を幕府に提出し許可を得て、翌年、砲台を造った。浜川砲台といわれた。

砂浜のやわらかい土地を、石、土砂で埋め立て、二三〇坪に拡大させている。砲台は八門を設置していた。警備隊は品川下屋敷を宿所としてこの砲台に配置されていた。浜川砲台と品川下屋敷を結ぶ連絡路は現在の立会川商店街の道路であり、その距離、約二百メートルである。

若き日の坂本龍馬も警備隊に加わっており、この道を毎日歩いていた。

【若き龍馬の足音】



龍馬がなぜここにいるの：旧土佐藩鮫洲抱屋敷跡・浜川砲台跡 (川の水、色が何故黄緑なの?)

浜川橋
この橋が架けられたのは、徳川家康が江戸入府後の一六〇四年(慶長十)に架け替えられたものです。昭和九年(一九三四年)に架け替えられたものです。

坂橋の由来
慶長四年(一六五〇)品川におき置場(倉庫)が設けられた。このとき此地(坂橋)に「坂」がつけられた。このとき此地(坂橋)に「橋」がつけられた。このとき此地(坂橋)に「橋」がつけられた。このとき此地(坂橋)に「橋」がつけられた。

平成十五年五月十日
品川区教育委員会



③しながわ区民公園



クジラの噴水

寛政10年(1798年)のこと、一頭の大きな鯨が品川沖に迷い込んできました。驚いた漁師たちが、やっとの思いで天王洲の浅瀬へ追い込み、鯨が砂浜に乗り上げたところを捕らえました。この知らせは江戸市中に伝わり、浜御殿(浜離宮)で将軍にご覧に入れたり、大勢の見物人でにぎわったそうです。その後、鯨の骨は利田(かがた)神社 東品川1-17の境内に埋められました。それが今も残る鯨塚です。以上をモチーフに鯨を漁師が小舟で捕まえる様子と親鯨が子を守る姿を表現しました。



珪化石(珪化木)

珪化石(珪化木)とは、太古の昔、巨木が造山運動より倒伏し高圧をうけ、地中の珪酸の浸透により化石化したもので、たいへん希少価値の高いもの。この珪化石は、区民から寄贈されたもので、品川区総合庁舎前庭と中小企業センター前庭に置かれています。

2011.03.06

各班グループ集合記念写真



A班熊坂班長グループ12人(田村隊長リボン色違いでD班へ)



B班菊池班長グループ11人



サンシュウ



C班平嶋班長グループ12人



D班仲班長グループ13人

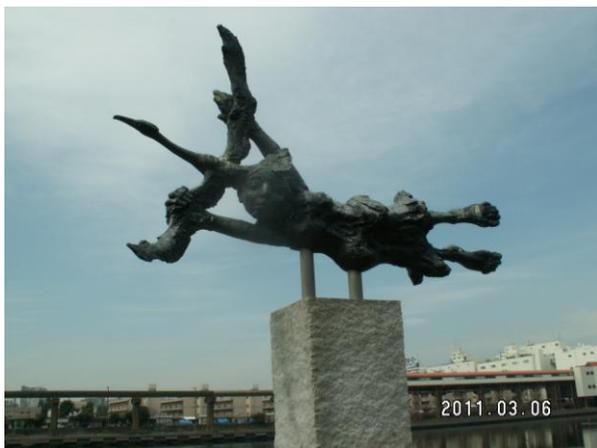




「勝馬橋」を渡って「大井競馬場」で大穴を当てて・・・



④都立大井ふ頭中央海浜公園



・大井ふ頭中央海浜公園は昭和53年4月1日開園、454千㎡の広大な広場で、球技場の他、今日我々が散策した、「せせらぎの森」昼食を取った「バーベキュー広場」、「野鳥観察小屋」等まだ33年しか経っていないのに、木々もしげり「桜広場」や「楠の木広場」「なぎさの森」と流石東京都立公園です。素晴らしい散策コースとスポーツ公園です。



大井ふ頭中央海浜公園バーベキュー広場で昼食12:00~12:45 (7,300歩)



ようこそおいでませニャーオ!

⑤野鳥公園：自然生態園（13：30～13：50）は無料、ネイチャーセンター（14：00～14：30）で野鳥のお話を聴く、～15：00野鳥観察



・野鳥の講義を受けると、暖房の中、ヨカ気持ちで顔を閉じていた人は・・・



・観察小屋から・・・野鳥は見えましたか？

・潮入りの池のススキが綺麗↑



・近くには太田市場も有ります

・平和の森公園から大森海苔のふるさと館へ

⑥大森海苔のふるさと館

・海苔づくりは300年前から始まり、この周辺の海辺に「ひび」と呼ぶ粗朶木を建て、その枝に育つ海苔を摘み取る。



←ひび建ての下駄と振り棒↓



⑦大森ふるさとの浜辺公園



・人工埋め立て海辺砂浜を歩きました。感触は如何でしたか？ 丘から眺めて集合写真



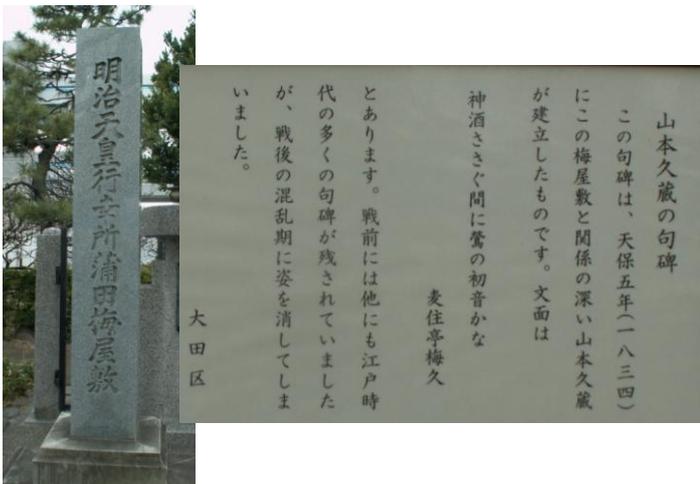
・ちょっと寄り道・・・平林邸を覗き見・・・この辺りの土地は・・・旧呑川緑道を行く・・・紅梅大歓迎

⑧聖跡梅屋敷公園



旧呑川緑地のちょっと広い所でクールダウンストレッチして梅屋敷へ

2011.03.06



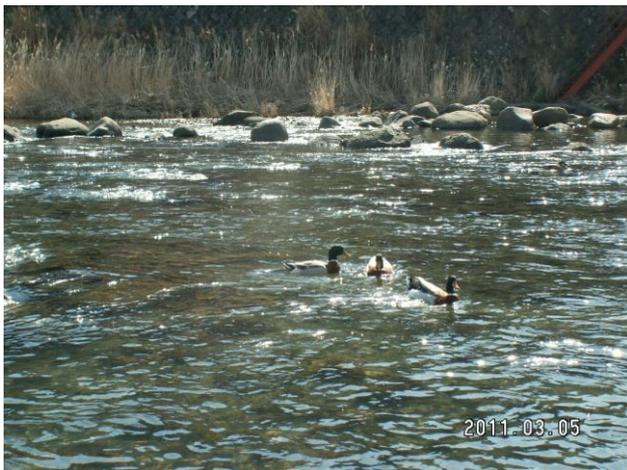
2011.03.06

編集後記

- ・京急蒲田駅近くの「養老の滝」でアフターウォーク。2階の個室に満杯で、吉野会長の挨拶から始まり、今日の熊坂・菊池・平嶋・仲の各班長の一言、運営委員の皆さん、八巻さんの「品川寺」アンコール・・・もう皆さん、順番に何でも愉快地に話しましょう・・・オイ静かに聴けよ・・・最後は田村総括リーダーの締め挨拶で、楽しく明るく、美味しく、乾杯！乾杯！
- ・都心の埋め立て、戦後派公園、流石に東京都、広いし、管理が行き届いている。これだけの公園を上手く繋ぎ企画、そしてガイドされた田村総括リーダーに深く感謝します。有難うございました。
- ・オーマイミスチック！その1：いつもの習慣で、皆さん忘れ物ないか最後に2階座敷から出ようとしたら私の靴がない。席が狭いのでテーブルの下に置いていたのを、リュックと一緒に隅に移動お願いしたのが間違いの始まりでした。間違の人がまだ外に出ていなくて助かりました。その2：もうちょっと足りない、第2次アフター会、ここも最後に席を見渡し、残りの黒いリュックを持って外に出たら、別の南武線グループとバッタリ！3次アフター・ドトールコーヒーでも飲みましょう。そして川崎駅から南武線に乗り武蔵新城駅前でロングペットの御茶がリュックから落ちた。「これ伊藤さんのではないですか」と言って戴き「いえ私のはショート缶カバー付きです」とリュックの名前を見たら、別の名前。さあ大変、携帯連絡、お互い間違え。もう23時、「明日朝一番に持っていきます」と言われ、それでもいいかと思いきや、明日は別のグループのウォーク&ランチ、カメラと大事な手帳が入っており、急遽引き返して、お互いJR川崎駅改札口で交換決定。川崎駅～溝ノ口駅2往復しました。自宅到着零時でした。御隣座席の新城お嬢さん有難う御座いました。昔飲んで東横線、渋谷～桜木町2往復を思い出しましたが、ちょっと違います・・・そろそろボケの始まりか？・・・
お互い気を付けましょう 人の心配するも良し その前 わが身も振り返れ！

⑨番外編：河津桜まつり

・前日3月5日(土)の「河津桜まつり」の写真を載せました。「無題」・・・ノコメントで・・・



東洋一の大噴湯と峰温泉
大正十五年十一月二十二日正午、『東洋一の大噴湯』は地震を以て大爆音のもと、地上五〇メートルの上空を突き刺し誕生した。
百度の熱湯が毎分三千リットル、止水装置を外せば地上三十メートルにも達する大噴湯は、まさに東洋一である。
現在この膨大な湯量は、他の源泉と集中管理され『踊り子温泉会館』、『サンシップ今井浜』の二つの町営温泉会館をはじめ、広く住民に供給され、また、国内でも有数の生産量を誇る花言葉等の栽培にも活用されています。
どこよりも早い春の訪れを知らせる『河津桜』。温かみのあるピンク色、鮮やかに桜が咲き誇る河津川。訪れた人に安らぎを与える『峰温泉あし湯処』は、『東洋一の大噴湯』の恵みのひとつです。
温暖な地 伊豆かわつ 年間を通じ温暖なのは、源泉から湧き出す噴湯や地熱のお陰かも知れません。







・夕暮れの今井浜海岸と、ここで拾った小石・・・遊び心で持って帰りました・・・